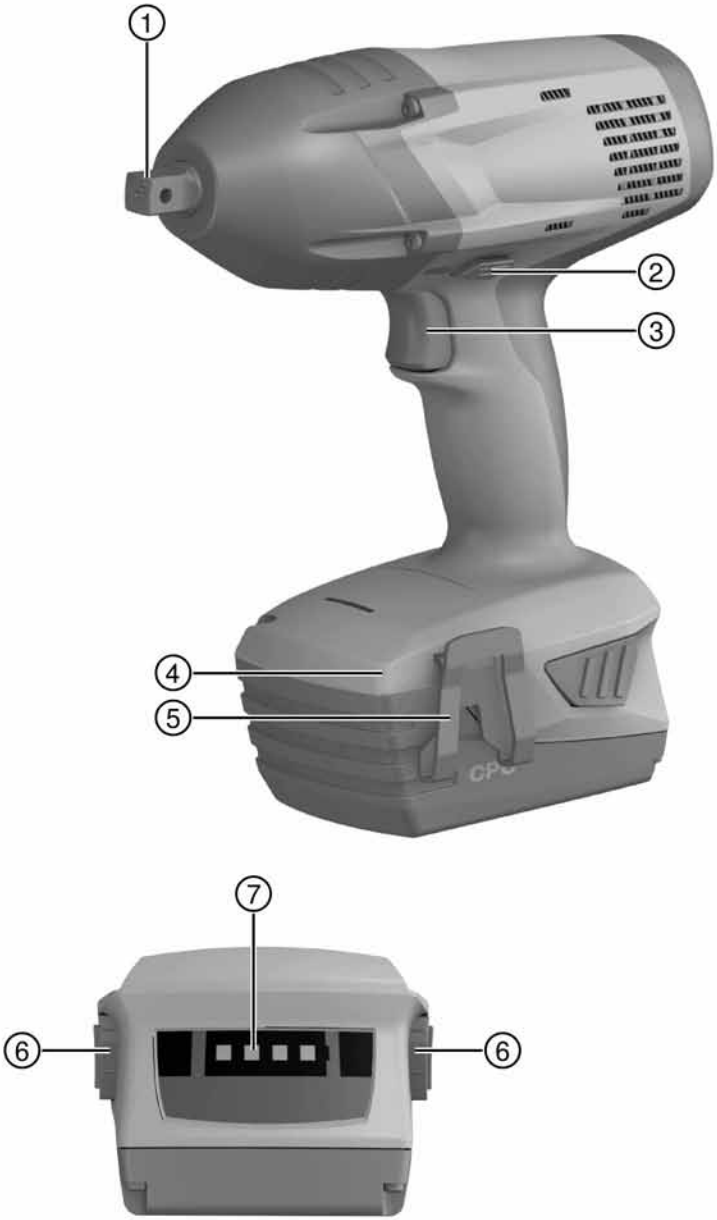
SIW 22T-A

Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Brugsanvisning	da
Bruksanvisning	sv
Bruksanvisning	no
Käyttöohje	fi
Инструкция по эксплуатации	ru
Kulllanma Talimatı	tr
دليل الاستعمال	ar
Lietošanas pamācība	lv
Instrukcija	lt
Kasutusjuhend	et
Інструкція з експлуатації	uk
Пайдалану бойынша басшылық	kk
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
操 作 說 明 書	zh
操作说明书	cn

Printed: 20.05.2015 | Doc-Nr: PUB / 5136068 / 000 / 03

1

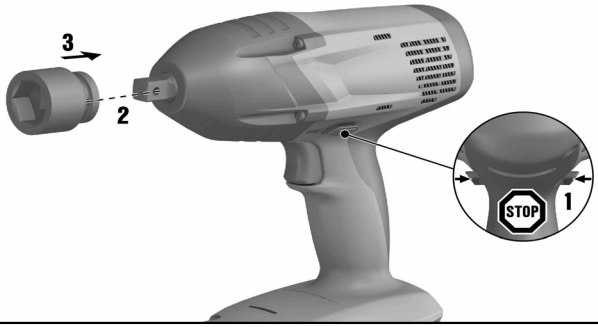


Printed: 20.05.2015 | Doc-Nr: PUB / 5136068 / 000 / 03

2

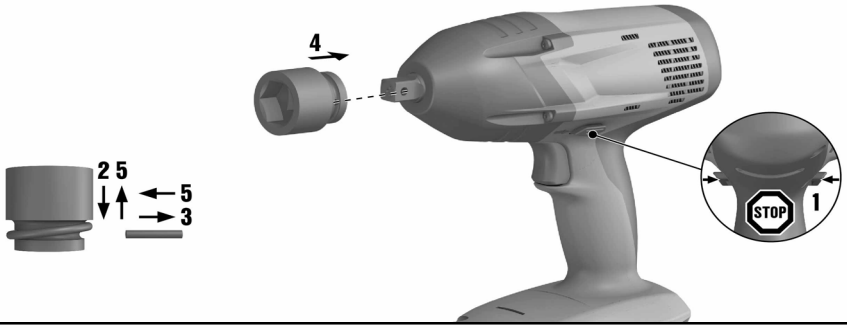
3

4



5

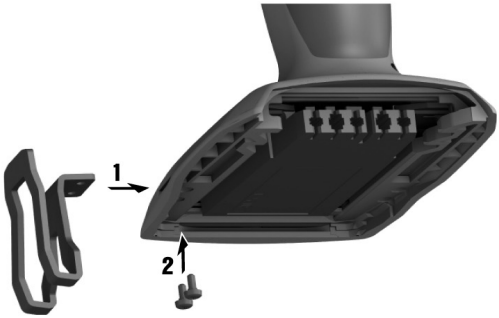
6



7

8

9



安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ご使用上の注意事項は、「⚠ 警 告」と「⚠ 注 意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警 告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注 意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注 意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警 告

安全作業のために：

1. 専用の充電器や電池パックを使用してください。
   - 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
   - 指定した電池パック以外は充電しないでください。破裂して障害や損傷を及ぼす恐れがあります。
2. 正しく充電してください。
   - この充電器は定格表示してある電源でご使用ください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
   - 温度が 0 °C 未満、または温度が 45 °C 以上では電池パックを充電しないでください。
   - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
   - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
3. 電池パックの端子間を短絡させないでください。
   - 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
4. 感電に注意してください。
   - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
5. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
6. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
7. 防音保護具を着用してください。
   - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
8. 加工するものをしっかりと固定してください。
   - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
9. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
   - 使用しない、または、修理する場合。
   - 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
   - その他危険が予想される場合。
10. 不意な始動は避けてください。
    - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
11. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
    - 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
12. 電池パックを火中に投入しないでください。
13. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
14. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

⚠ 注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または錠のかかる所に保管してください。
   - 充電工具や電池パックを、温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。

4. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
   - モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
   - 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
   - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
   - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めのお店に修理を依頼してください。
   - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
   - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
   - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
   - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
   - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
   - スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
   - 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
   - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
   - 常識を働かせてください。
   - 疲れている場合は、使用しないでください。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
   - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
   - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
   - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
   - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めのお店、または弊社営業担当に修理を依頼してください。
   - スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
   - サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
   - 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は点検修理に出してください。
   - 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
   - 修理は、必ず弊社営業担当、お買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

充電式インパクトレンチ使用上の注意

⚠ 警　告

1. 穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は、本体を確実に保持してください。
   • 確実に保持していないと、けがの原因になります。
2. 使用中は、先端工具類（キリ、ビットなど）や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
   • けがの原因になります。
3. 作業中、工具が電線管・水道管やガス管などの埋蔵物に触れると感電やガス漏れの恐れがあります。作業前に埋蔵物がないかどうか十分確かめてください。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具類（ビットなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   • 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
5. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにメインスイッチを切って使用を中止し、弊社営業担当またはお買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
   • そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠ 注　意

1. 先端工具類（キリ、ビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
   • 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
   • 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 細径ドリルビットは折れやすいので注意してください。
4. 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
5. 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
6. 作業直後の先端工具類（キリ、ビットなど）、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。
   • **やけどの原因になります。**
7. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。
   • 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
8. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
   • けがの原因になります。

オリジナル取扱説明書

SIW 22T-A 充電式インパクトレンチ

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次

	頁
1 一般的な注意	135
2 安全上の注意	136
3 製品の説明	138
4 製品仕様	139
5 ご使用前に	140
6 ご使用方法	140
7 手入れと保守	141
8 故障かな？ と思った時	141
9 廃棄	142
10 本体に関するメーカー保証	142
11 EU 規格の準拠証明 （原本）	143

1 この数字は該当図を示しています。 図は取扱説明書の冒頭にあります。
この取扱説明書で 「本体」 と呼ばれる工具は、 常に SIW 22T-A 充電式インパクトレンチを指しています。

製品概要 1

① チャック
② 正回転 / 逆回転切り替えスイッチ （スイッチオンロック付き）
③ 無段変速スイッチ （電子回転数コントロール装備）
④ 銘板
⑤ ベルトフック （オプション）
⑥ 追加機能 （充電状態インジケーター作動） 付きバッテリーリリースボタン
⑦ 充電状態および故障インジケーター （Li-Ion バッテリー）

1 一般的な注意

ja

1.1 安全に関する表示とその意味

危険
この表記は、 重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項
この表記は、 重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意
この表記は、 軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項
この表記は、 本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示

一般警告事項

義務表示

ご使用前に取扱説明書をお読みください

略号

リサイクル規制部品です

直流

n_0
無負荷回転数

/min
毎分回転数

機種名 ・ 製造番号の表示箇所
機種名は銘板上、 また製造番号はモーターハウジングの側面に表示されています。 当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、 お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名 :

製品世代 : 01

製造番号 :

2 安全上の注意

注意事項
以下の章で言及されている安全上の注意事項は、 準拠する規格が取扱説明書に記載するように定めている電動工具に関するすべての基本的な安全情報を含んでいます。 したがって、 この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

2.1 電動工具の一般安全注意事項

a) ⚠ **警告事項**
安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。 安全上の注意および指示事項に従わない場合、 感電、 火災、 重度のけがをまねく恐れがあります。 **安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。** 安全上の注意で使用する用語 「電動工具」 とは、 お手持ちの電動ツール （電源コード使用） およびバッテリーツール （コードレス） を指します。

2.1.1 作業環境に関する安全

a) **作業場はきれいに保ち、 十分に明るくしてください。** ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
b) **爆発の危険性のある環境 (可燃性液体、 ガスおよび粉じんのある場所) では電動工具を使用しないでください。** 電動工具から火花が飛散し、 粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。
c) **電動工具の使用中、 子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。** 作業中に気がそらされると、 本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

2.1.2 電気に関する安全注意事項

a) **電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。 プラグは絶対に変更しないでください。 アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。** オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、 感電の危険を小さくすることができます。
b) **パイプ、 ラジエーター、 電子レンジ、 冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。** 体が触れると感電の危険が大きくなります。
c) **電動工具を雨や湿気から保護してください。** 電動工具に水が浸入すると、 感電の危険が大きくなります。
d) **電動工具を持ち運んだり、 吊り下げたり、 コンセントからプラグを抜いたりするときは、 必ず本体を持ち、 電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。 電源コードを火気、 オイル、 鋭利な刃物、 本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。** コードが損傷したり絡まったりしていると、 感電の危険が大きくなります。
e) **屋外工事の場合には、 屋外専用の延長コードのみを使用してください。** 屋外専用の延長コードを使用すると、 感電の危険が小さくなります。
f) **湿った場所で電動工具を作動させる必要がある場合は、 漏電遮断機を使用してください。** 漏電遮断機を使用すると、 感電の危険が小さくなります。

2.1.3 作業者に関する安全

a) **電動工具を使用の際には、 油断せずに十分注意し、 常識をもった作業をおこなってください。 疲れている場合、 薬物、 医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。** 電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
b) **作業保護具および保護メガネを常に着用してください。** けがに備え、 電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、 耐滑性の安全靴、 ヘルメット、 耳栓などの作業保護具を使用してください。
c) **電動工具の不意な始動は避けてください。 電動工具を電源および / またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、 本体がオフになっていることを必ず確認してください。** オン / オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、 電源に接続したりすると、 事故の原因となる恐れがあります。
d) **電動工具のスイッチを入れる前に、 必ず調節キーやレンチを取り外してください。** 調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、 けがの原因となる恐れがあります。
e) **作業中は不安定な姿勢をとらないでください。 足元を安定させ、 常にバランスを保つようにしてください。** これにより、 万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、 適切な対応が可能となります。
f) **作業に適した作業着を着用してください。 だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。 髪、 衣服、 手袋を本体の可動部に近づけないでください。** だぶだぶの衣服、 装身具、 長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
g) **吸じんシステムの接続が可能な場合には、 これらのシステムが適切に接続、 使用されていることを確認してください。** 吸じんシステムを利用することにより、 粉じん公害を防げます。

2.1.4 電動工具の使用および取扱い

a) **無理のある使用を避けてください。 作業用途に適した電動工具を使用してください。** 適切な電動工具の使用により、 能率よく、 スムーズかつ安全な作業が行えます。
b) **スイッチに支障がある場合には、 電動工具を使用しないでください。** スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、 修理が必要です。

ja

c) **本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、 バッテリーを取り外してください。** この安全処置により、 電動工具の不意の始動を防止することができます。

d) **電動工具をご使用にならない場合には、 子供の手の届かない場所に保管してください。 電動工具に関する知識のない方、 本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。** 未経験者による電動工具の使用は危険です。

e) **電動工具は慎重に手入れしてください。 可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、 電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。 電動工具を再度ご使用になる前に、 損傷部分の修理を依頼してください。** 発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。

f) **先端工具をきれいに保ってください。** お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、 作業が簡単かつ、 スムーズになります。

g) **電動工具、 アクセサリー、 先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。 この際、 作業環境および用途に関してもよくご注意ください。** 指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

2.1.5 バッテリーの使用および取扱い

a) **バッテリーを充電する場合は、 必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。** 特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、 火災の恐れがあります。

b) **指定されたバッテリーのみを電動工具に使用してください。** 指定以外のバッテリーを使用すると、 負傷や火災の恐れがあります。

c) **使用しないバッテリーの近くに、 事務用クリップ、 硬貨、 キー、 釘、 ネジ、 その他の小さな金属片を置かないでください。 電気接点の短絡が起こることがあります。** バッテリーの電気接点間が短絡すると、 火傷や火災が発生する危険があります。

d) **バッテリーが正常でないと、 液漏れが発生することがあります。 その場合、 漏れた液には触れないでください。 もしも触れてしまった場合は、 水で洗い流してください。 液体が眼に入った場合は、 水で洗い流してから医師の診察を受けてください。** 流出したバッテリー液により、 皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

2.1.6 サービス

a) **電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。 また、 必ず純正部品を使用してください。** これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

2.2 その他の安全上の注意

2.2.1 作業者に関する安全

a) **作業の実施に伴いネジが隠れている電線に接触する可能性がある場合は、 本体を絶縁されたグリップ面で保持するようにしてください。** ネジが通電しているケーブルと接触すると、 本体の金属部分にも電圧がかかり、 感電の危険があります。

b) **耳栓を着用してください。** 騒音により、 聴覚に悪影響が出る恐れがあります。

c) **本体の加工や改造は許されません。**

d) **本体に集じん装置を取り付けないで作業をする場合、 作業される方は防じんマスクを着用しなければなりません。**

e) **休憩を取って緊張をほぐし、 指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。**

f) **回転部分には手を触れないでください。 本体の電源は必ず作業場で入れてください。** 回転部分、 特に回転している先端工具は負傷の原因となります。

g) **本体を保管および搬送する際は、 スイッチオンロックを作動させてください (正逆回転スイッチを中立の位置にします)。**

h) **本体は、 体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。 本体は子供の手が届かないところに保管してください。**

i) 含鉛塗料、 特定の種類の木材、 コンクリート / 石材、 石英を含む岩石、 鉱物および金属などの母材から生じた粉じんは、 健康を害する恐れがあります。 作業者や近くにいる人が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、 アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。 カシやブナ材などの特定の粉じんは、 特に木材処理用の添加剤 (クロム塩酸、 木材保護剤) が使用されている場合、 発ガン性があるとされています。 アスベストが含まれる母材は、 必ず専門家が取り扱うようにしてください。 **できるだけ集じん装置を使用してください。 集じん効率を高めるには、 適切な可動集じん装置を使用してください。 必要に応じてそれぞれの粉じんに適した防塵マスクを着用してください。 作業場の換気に十分配慮してください。 処理する母材について、 各国で効力を持つ規定を遵守してください。**

2.2.2 電動工具の取扱いと手入れ

a) **作業材料を固定します。 作業材料を締め付ける時は、 クランプあるいは万力を使用してください。** この方が手で押さえるよりも確実であり、 本体を両手で自由に操作することができます。

b) **使用する先端工具がチャック機構に適合し、 チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。**

c) **ネジおよび作業材料が、 本体が出すトルクに対応しているか確認してください。** トルクが大きすぎると、 ネジまたは作業材料に過大な負荷がかかり、 延びが生じたり、 損傷したりすることで、 危険な状況やけがをまねく恐れがあります。

2.2.3 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

a) **バッテリーは高温と火気を避けて保管してください。** 爆発の恐れがあります。

b) **バッテリを分解したり、 挟んだり、 80 °C 以上に加熱したり、 燃やしたりしないでください。** これを守らないと、 火災、 爆発、 腐食の危険があります。

c) **Li-Ion バッテリーの搬送、 保管、 作動には特別規定を守ってください。**

d) **損傷したバッテリー (例えば亀裂や破損箇所があったり、 電気接点が曲がっていたり、 押し戻されていたり、 引き抜かれているバッテリー) は、 充電することも、 そのまま使用を続けることもできません。**

e) バッテリーがつかむことのできないほどに熱くなっている場合は、 故障している可能性があります。 **本体を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、 冷ましてください。 バッテリーを冷ました後、 ヒルティサービスセンターにご連絡ください。**

2.2.4 電気に関する安全注意事項

作業を開始する前に、 作業場に埋設された電線、 ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。 例えば、 作業中に誤って先端工具が電線に触れると、 本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。 この場合、 感電による重大な事故が発生する危険があります。

2.2.5 個人保護用具

本体使用中、 作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、 保護ヘルメット、 耳栓、 保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。

3 製品の説明

3.1 正しい使用

本書で説明している製品は、 手持ち式の充電式インパクトレンチです。 スクリューナット、 ボルト、 アンカーおよび木ネジを締め付けたり緩めたりするのに適しています。
各国の労働安全衛生法に従ってください。
バッテリーを他の電気器具の電源用に使用しないでください。
けがの可能性を防ぐため、 必ずヒルティ純正の、 アクセサリーや先端工具のみを使用してください。
トルクを厳密に設定する必要のある用途に本体を使用してはなりません。 規定のトルクが要求される、 もしくは最大トルクを超えてはならない用途に本体を使用した場合、 過回転、 ネジまたは作業材料が損傷する危険が生じます。 このような用途に対しては、 トルクを厳密に設定できる機器をご使用ください。
本体はプロ仕様で製作されており、 本体の使用、 保守、 修理を行うのは、 認定、 訓練された人のみに限ります。 これらの人は、 遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。 本体および付属品の、 使用法を知らない者による誤使用、 あるいは規定外使用は危険です。

3.2 本体標準セット構成品 :

ja

1 本体
1 取扱説明書

注意事項
承認されているアクセサリーは最寄りのヒルティセンター、 または**www.hilti.com** でご確認ください。

3.3 本体の作動に必要な追加品目

適切な推奨バッテリー （「製品仕様」 の表をご覧ください） およびモデルシリーズ C 4/36 の適切な充電器。

3.4 Li-Ion バッテリーの充電状態および過熱インジケーター

Li-Ion バッテリーを使用する際には、 リリースボタンを軽く押すと （抵抗が感じられる程度まで - ロック解除はしない）、 充電状態を表示させることができます。 バッテリー背面のインジケーターは次の情報を提供します :

LED 点灯	LED 点滅	充電状態 C
LED 1、 2、 3、 4	-	C ≧ 75 %
LED 1、 2、 3	-	50 % ≦ C < 75 %
LED 1、 2	-	25 % ≦ C < 50 %
LED 1	-	10 % ≦ C < 25 %
-	LED 1	C < 10 %
-	LED 1	バッテリー過熱

注意事項
作業中および作業直後は、 充電状態の読み取りは行えません。 バッテリーの充電状態インジケーターの LED が点滅している場合は、「故障かな？ と思った時」 の章の注意事項を確認してください。

3.5 本体の過負荷および過熱インジケーター

本体には電子過負荷保護機構および過熱保護機構が装備されています。 過負荷および過熱の際、 本体は自動的にオフになります。 コントロールスイッチを放して押し直すと、 オンになるまでに時間がかかる場合があります （本体の冷却段階）。

LED 点灯	LED 点滅	本体の状態
-	LED 1、 2、 3、 4	本体の過負荷あるいは過熱

4 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

本体	SIW 22T-A ½"	SIW 22T-A ¾"
電圧 （直流電圧）	21.6 V	21.6 V
重量 （EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠）	3 kg	3.2 kg
無負荷回転数	0... 2,000/min	0... 2,000/min
全負荷打撃数	Max. 2,500/min	Max. 2,500/min
トルク	450 Nm	450 Nm
普通ボルト	M12...M24	M12...M24
高力ボルト	M8...M16	M8...M16
チャック	½" スクエア （半球付き）	ロックピン付き ¾ インチ四角タイプ
回転数コントロール	電子制御によるコントロールスイッチ	電子制御によるコントロールスイッチ
正逆回転機能	作動中の切替ロック機能付きスイッチ	作動中の切替ロック機能付きスイッチ
過放電保護	あり	あり

騒音について （EN 60745 準拠） :

本体	SIW 22T-A ½"	SIW 22T-A ¾"
サウンドパワーレベル、 L_{WA}	108 dB (A)	111 dB (A)
サウンドパワーレベルの不確実性、 K_{WA}	3 dB (A)	3 dB (A)
排出サウンドプレッシャーレベル、 L_{pA}	97 dB (A)	100 dB (A)
サウンドプレッシャーレベルの不確実性、 K_{pA}	3 dB (A)	3 dB (A)

注意事項

本説明書に記載されているサウンドプレッシャー値および振動値は、 規格に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。 電動工具を比較するのにご使用いただけます。 曝露値の暫定的な予測にも適しています。 記載されているデータは、 電動工具の主要な使用方法に対する値です。 電動工具を他の用途で使用したり、 異なる先端工具を取り付けて使用したり、 手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、 データが異なることがあります。 このような相違により、 作業時間全体で曝露値が著しく高くなる可能性があります。 曝露値を正確に予測するためには、 本体のスイッチをオフにしている時間や、 本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。 このような相違により、 作業時間全体で曝露値が著しく低くなる可能性があります。 作業者を騒音および / または振動による作用から保護するために、 他にも安全対策を立ててください （例 : 電動工具およびの先端工具の手入れや保守、 手を冷やさないようにする、 作業手順の編成）。

合計振動値 (3 方向のベクトル合計)、 EN 60745 準拠

½" の先端工具の最大許容サイズのねじおよびナットの締付け時に発生する振動値、 a_h	14.5 m/s²
¾" の先端工具の最大許容サイズのねじおよびナットの締付け時に発生する振動値、 a_h	14.2 m/s²
最大許容サイズのねじおよびナットの締付けの不確実性、 K	1.5 m/s²

バッテリー	B 22/5.2 Li-Ion	B 22/3.3 Li-Ion	B 22/2.6 Li-Ion (02)	B 22/2.6 Li-Ion (01)	B 22/1.6 Li-Ion
電圧	21.6 V	21.6 V	21.6 V	21.6 V	21.6 V
容量	5.2 Ah	3.3 Ah	2.6 Ah	2.6 Ah	1.6 Ah
重量	0.78 kg	0.78 kg	0.48 kg	0.78 kg	0.48 kg
バッテリー容量	112.32 Wh	71.28 Wh	56.16 Wh	56.16 Wh	34.56 Wh

5 ご使用前に

5.1 使用したバッテリーの充電

バッテリーを適切な充電器にセットする前に、 バッテリーの表面の汚れを落とし、 乾かしてください。
充電方法については、 充電器の取扱説明書を参照してください。

5.2 バッテリーを装着する 2

注意
バッテリーを装着する前に、 本体のスイッチがオフになっていてスイッチオンロックが作動していること (正逆回転スイッチを中立の位置にします) を確認してください。

注意
バッテリーを本体に装着する前に、 バッテリーの電気接点と本体の電気接点に異物が入っていないか確認してください。

1. **注意バッテリーが落下してご自身あるいは他の方が怪我をする恐れがあります。**
   バッテリーが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。

5.3 バッテリーを取り外す 3

5.4 バッテリーの搬送および保管

バッテリーを引いて、 ロック位置 (作業位置) から最初のロック位置 (トランスポートロック位置) へ動かします。
バッテリーを輸送 (トラック、 鉄道、 船舶あるいは航空機による輸送) する際は、 輸送に関する各国および国際的な規定に注意してください。

6 ご使用方法

6.1 先端工具の交換

6.1.1 先端工具の交換 ½" スクエア (半球付き)

注意事項
ソケットの横の穴にチャックの半球がはまり込むようにします、 そうしないと先端工具が自然に緩んでしまい、 固定することができません。

6.1.1.1 ソケット (先端工具) の取付け 4

1. 正逆回転スイッチを中立位置にするか、 またはバッテリーを本体から取り外します。
2. ソケットの横の穴にチャックの半球がはまり込むようにします。
3. ソケットをチャックにかみ合うまで押し込みます。

6.1.1.2 ソケット (先端工具) の取外し 5

1. 正逆回転スイッチを中立位置にするか、 またはバッテリーを本体から取り外します。
2. ソケットをチャックから引き出します。

6.1.2 先端工具の交換 ¾" スクエア (ピンロック付き)

6.1.2.1 ソケット (先端工具) を取り付ける 6

1. 正逆回転スイッチを中立位置にするか、 またはバッテリーを本体から取り外します。
2. O リングをソケットの溝から取り外します。
3. ロックピンを外します。

4. ソケットを本体のドライブスクエアに取り付けます。
注意事項ドライブスクエアのロックピンの受け穴とソケットが合致することを確認します。
5. 最初にロックピンを取り付け、 それから固定のために再び O リングをソケットに取り付けます。

6.1.2.2 ソケット （先端工具） を取り外す 7

1. 正逆回転スイッチを中立位置にするか、 またはバッテリーを本体から取り外します。
2. O リングをソケットの溝から取り外します。
3. ロックピンを外します。
4. ソケットを本体のドライブスクエアから取り外します。
5. 最初にロックピンを取り付け、 それから固定のために再び O リングをソケットに取り付けます。

6.2 正逆回転の設定 8

6.3 ベルトフック 9

注意
作業を開始する前に、 ベルトフックが確実に固定されていることを確認してください。

ベルトフックにより、 本体を体に接触させてベルトに固定することができます。 またベルトフックの位置は、 左利きの作業者のために本体の反対側に変更することもできます。

7 手入れと保守

警告事項
本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

7.1 本体の手入れ

注意
本体、 特にグリップ表面を乾燥させ、 清潔に保ち、 オイルやグリスが付着していないようにしてください。 洗剤、 磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。 通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。 本体内部に異物が入らないようにしてください。 定期的に、 少し湿した布で本体表面を拭いてください。 スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。 電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

7.2 Li-Ion バッテリーの手入れ

注意事項
低温ではバッテリーの力が低下します。

注意事項
バッテリーを使用しない場合は、 できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。

バッテリーを最大寿命で使用できるように、 バッテリーのパワーが著しく低下したら直ちに放電を中止してください。
注意事項
- 作動を続けると、 セルの損傷を防ぐために放電が自動的に終了します。
- バッテリーは Li-Ion バッテリー用に許可されたヒルティ充電器で充電してください。

8 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が始動しない。	バッテリーが正しくロックされていないか、 あるいはバッテリーが空。	バッテリーをカチッカチッとロック音がするまで挿入するか、 あるいはバッテリーを充電する。
	電気的故障。	本体からバッテリーを取り外し、 ヒルティサービスセンターに連絡する。
本体が作動せず、 LED 1 が点滅する。	バッテリーが放電している。	バッテリーを交換し、 空のバッテリーを充電する。
	バッテリーの温度が高すぎる、 または低すぎる。	バッテリーを推奨運転温度まで冷やす / 暖める。
本体が作動せず、 4 個すべての LED が点滅。	本体に短期的に過負荷がかかっている。	コントロールスイッチを放して、 押し直す。
オン / オフスイッチが押せない、 あるいは動かない。	正逆回転スイッチは中立位置 （トランスポートロック位置）	正逆回転スイッチを左または右へ押す。
回転数が突然落ちる。	バッテリーが放電している。	バッテリーを交換し、 空のバッテリーを充電する。

症状	考えられる原因	処置
バッテリーの消耗が通常よりも早い。	周囲温度が低すぎる。	バッテリーをゆっくり室温まで暖める。
バッテリーが「カチッカチッ」と音がするまでロックされない。	バッテリーのロックノッチが汚れている。	ロックノッチを清掃して、バッテリーをロックする。 問題が再発する場合は、 ヒルティサービスセンターに連絡する。
本体あるいはバッテリが熱くなる。	電気的故障。	本体の電源を直ぐに切ってバッテリーを取り外し、 ヒルティサービスセンターに連絡する。
	本体に負荷がかかり過ぎている （適用基準を超えている）。	用途に合った工具を選択する。

9 廃棄

注意
装備を誤った方法で廃棄すると、 次のような危険があります : プラスチック部分の燃焼時には人体に有害な有毒ガスが発生します。 電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、 毒害、 火傷、 腐食または環境汚染の危険があります。 廃棄について十分な注意を払わないと、 権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。 このような場合、 ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。

注意
故障したバッテリーはただちに廃棄してください。 バッテリーは子供の手の届かない所に置いてください。 バッテリーを分解したり、 燃やしたりしないでください。

注意
バッテリーは各国の技術法規に従って廃棄するか、 ヒルティへ返送してください。

ja

本体の大部分の部品はリサイクル可能です。 リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。 多くの国でヒルティは、 古い電動工具をリサイクルのために回収しています。 詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

EU 諸国のみ

本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準と各国の法律に基づき、 使用済みの電気工具およびバッテリーパックは一般ゴミとは別にして、 環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。

10 本体に関するメーカー保証

保証条件に関するご質問は、 最寄りのヒルティ代理店・販売店までお問い合わせください。

11 EU 規格の準拠証明（原本）

名称：	充電式インパクトレンチ
機種名：	SIW 22T-A
製品世代：	01
設計年：	2013

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します：EN 60745-1、 EN 60745-2-2、2006/42/EG、2016 年 4 月 19 日まで：2004/108/EC、2016 年 4 月 20 日以降：2014/30/EU、 2006/66/EG、2011/65/EU、 EN ISO 12100.

Hilti Corporation 、 Feldkircherstrasse 100 、 FL-9494 Schaan

Paolo Luccini
Head of BA Quality and Process Management
Business Area Electric Tools & Accessories
03/2015

Tassilo Deinzer
Executive Vice President
Business Unit Power Tools & Accessories
03/2015

技術資料：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland

ja

Hilti Corporation
LI-9494 Schaan
Tel.: +423 / 234 21 11
Fax: +423 / 234 29 65
www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
Pos. 8 I 20150415

409099

Printed: 20.05.2015 | Doc-Nr: PUB / 5136068 / 000 / 03